2026 年 11 月 13 日

各　位

会 社 名　株式会社フジタコーポレーション
代表者名　代表取締役社長　遠藤　大輔
（コード番号 3370）
問合せ先　専務取締役　　清水 清作
（TEL 0144-34-1111）

2027 年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想と実数値の差異に関するお知らせ

2026 年5月 15 日に公表いたしました 2027 年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想と、本日公表の実数値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1．2027 年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	1株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	2,531	36	28	20	5.76
実績値（B）	2,571	85	75	58	16.74
増減額（B-A）	40	49	47	37	－
増減率(%)	1.6	136.0	170.0	183.3	－
（ご参考）前期第2四半期実績（2026 年3月期第2四半期）	2,462	39	31	14	9.3

2．差異の理由

当中間連結会計期間の売上高は、飲食・小売部門の主力業態である「ミスタードーナツ」、「モスバーガー」に加え、2026 年4月から津別町の指定管理者として運営を開始した「道の駅あいおい」等を中心に、各業態ともに順調に推移いたしました。

一方、円安を背景としたエネルギーコストや原材料価格の高止まりに加え、労働力不足に伴う時給単価の上昇など、収益を圧迫する要因が懸念されましたが、各種コストの適切な管理・抑制に努めた結果、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益はいずれも業績予想を上回る結果となりました。

今後の業績につきましては、概ね予想どおりに推移するものと見込んでおります。一方で、原材料価格の上昇やエネルギーコストのさらなる高騰が懸念されるなど、事業環境は引き続き不透明な状況が続くものと予想されます。

このような状況を踏まえ、2027 年3月期の連結業績予想につきましては、2026 年5月 15 日付で公表いたしました「2027 年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の通期連結業績予想を据え置くことといたします。

※上記記載の業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上